

森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会発表概要

① 活動報告課題名

篠山の里山の木質バイオマスの利用を通じた持続可能な社会のための教育活動

② 発表団体名

特定非営利活動法人 バイオマス丹波篠山

③ 発表概要

バイオマス丹波篠山の活動趣旨

ペレットストーブ等を教材としたバイオマスの利用を伝える活動

薪づくり体験、里山保全整備の実習、職業体験

NPO法人バイオマス丹波篠山の活動のキーワードは「つながりを取り戻す」。

緑化活動を通じて環境に配慮したまちづくりに貢献するとともに、バイオマスの研究によって環境問題の改善を図ることを目的とする団体です。里山を整備することで発生した間伐材をペレット・チップ・薪などのバイオマスエネルギーとして利用し、豊かな循環型社会を作るための活動を行っています。

1. 森林環境教育に関わる事業

里山を整備を通じて、世代間を超えた交流をすることで、人の魅力を再発見したり、人の思いやり・優しさを持てる子供たちの形成に貢献します。

2. バイオマスの利用を伝える活動

市内の幼稚園、小中学校を中心にペレットストーブの導入を進め、バイオマスの利用を促進しています。また子どもたちへバイオマスの理解を深めるため、薪割り体験などを通じた里山の資源を有効に活用することの意義を伝える活動を行っています。

また、篠山市との連携により、市内に在住される森林整備の経験が少ない森林所有者など作業の基礎を学びたい方(概ね20歳以上)を対象に篠山里山スクールを実施しています。里山の現状と課題、安全な作業のための基礎知識、チェーンソー取扱い講習、伐木実習を行いました。

3. 平成27年度の実践

篠山市商工会青年部企画の「夏だわいわいフェスティバル」7月31日に「わいわい林業」として職業体験ブース出展。グラップルを持込、子どもたちに木材積み込み体験、薪割り体験を実施。地域に密着した職業体験を子どもたちにしてもらいました。この取り組みを通して、建設、林業に興味を持ってくれる後継者ができることを期待しています。